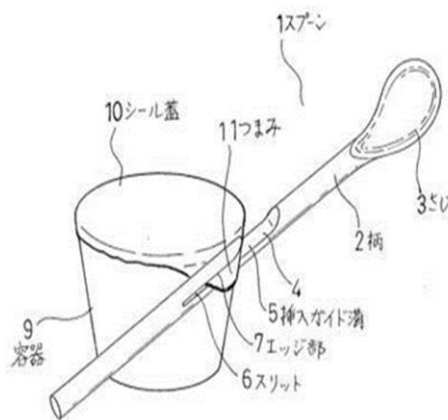


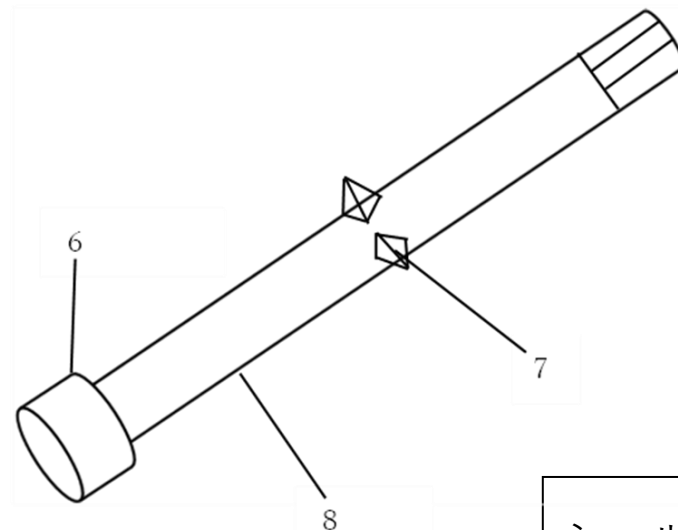
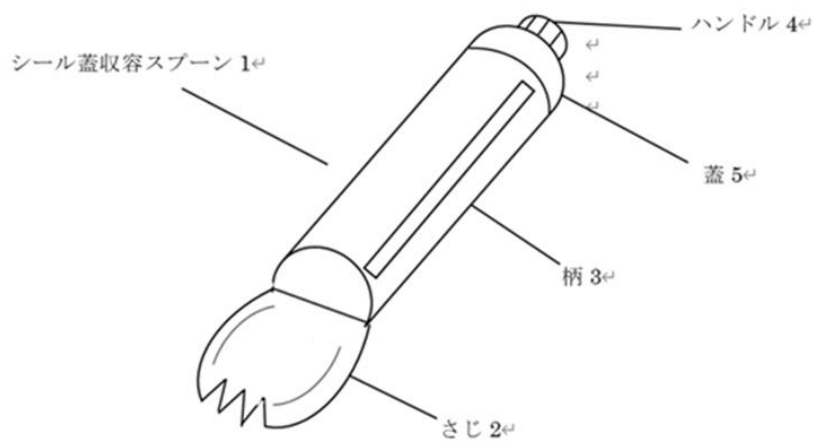
・シール蓋は機能性に富んでいる一方で、剥がしづらいという課題がある。これを解決する発明が存在するが、手が汚れてしまうという新たな課題がある。



「シール蓋を綺麗に剥がす事ができ、消費者がシール蓋を剥がすまで手を汚すことのなく、また、剥がしたシール蓋を収容できるスプーンが求められている」



- シール蓋を剥がしてスプーンの柄の中に収容することができるシール蓋収容スプーンを発明した。
- 柄はその内部が空洞になった円筒状であり、柄の側面にはシール蓋のつまみが差し込める横穴が開いている。柄の内部には柄に対して回転可能な回転軸が収容され、シール蓋のつまみを引っ掛けて巻き取れるようにする引っ掛かり部分とが取り付けられている。



- ・実際に試作品を作製し、手を汚さずに剥がし捨てられるかどうかを確認した。



蓋を収容する様子



蓋を剥がす様子

手を汚さずに綺麗に剥がせた！！

「シール蓋を剥がしてスプーンの柄の中に收容することができるスプーン」

- ・ 柄はその内部が空洞になった円筒状であり、柄の側面にはシール蓋のつまみが差し込める横穴が開いており、柄の内部には柄に対して回転可能な回転軸が收容されている。
- ・ 回転軸の柄の末端側には回転軸を回転させるためのハンドルが設けられている。また、回転がぶれないようにする吸水性素材を使った補助器具を取り付けた。

